

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

續まれる 苧から 生まれる 思い

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

令和6年度 博物館 特別展 喜如嘉の芭蕉布保存会50周年記念 芭蕉布展



国の重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」の指定50周年を記念した特別展「芭蕉布展」が沖縄県立博物館・美術館において開催され、10月1日（火）、開会式が行われました。

芭蕉布は琉球王国時代、年齢や性別を問わず幅広く着用されてきました。

展示会場は「美しい布 芭蕉布」、「衣文化を支える 植物」、「芭蕉とシマの生活誌」、「喜如嘉の芭蕉布」の4つの章からなっており、各地の多様な芭蕉布など約140点が展示されています。布や素材の素晴らしさだけでなく、人々の思いや手わざに込められた心意気を感じられるものとなっています。

開会式であいさつした友寄景善村長は「大宜味村に足を運び五感で感じてほしい」と話し、喜如嘉の芭蕉布保存会会長の平良美恵子さんは「初代の伝承者たち、半分は今も元気に糸を作っている。芭蕉布展では技の伝承、そして心意気をぜひ見てほしい」と伝えました。

芭蕉布展は10月1日より12月1日まで沖縄県博物館3階企画展示室、特別展示室で行われています。他に芭蕉布に関するイベントが博物館や県内各地の博物館で開催されます。詳細が書かれたちらしは大宜味村教育委員会、大宜味村観光協会に設置されていますので、ご確認下さい。

# お知らせ 令和7年度 おおぎみこども園入園申込について

## おおぎみこども園では令和7年度入園申込を下記の通り行います。

- 申込期間 : 令和6年11月1日（金）～12月13日（金）
- 申込対象 : 0歳（生後6ヶ月以上）～ 就学前の乳幼児
- 申込書類提出先 : おおぎみこども園 又は 大宜味村教育委員会
- 書類配布先 : 大宜味村教育委員会
- 申込提出書類 : ① 利用申込書、② 同意書、③ 申告書  
④ 家庭で十分な保育が出来ないことを証明する書類  
※2号認定、3号認定を希望する方のみ提出。  
(就労・内職・自営・出産・病気・看護・求職活動等の証明書)
- ⑤ 対象児童の健康診断書（在園児は不要です。特に用紙の指定なし）



※令和6年1月1日時点に大宜味村に住所がない保護者の方は課税状況の確認のため、課税証明書の提出、又は、マイナンバーの提出が必要です。

※兄弟姉妹で入園申込みを希望される場合は、②・④は1部だけの提出で結構です。

※本村では、大宜味村保育所入所選考基準表に基づき優先度を決定することにより、利用調整を行っています。村HPにおいて保育所等入所における選考基準及び方法を公表しています。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 学校教育係 ☎0980-44-3006

### 図書室情報

No.63 2024年（令和6年）11月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）  
大宜味村字大兼久 157番地 0980-44-3009

『職活習慣 ころとからだを巡らせる!』尹生花・著 / 新星出版社

『沖縄ルール 知っておくとビジネスも

人間関係もうまくいく!』伊波貢・著 / あさ出版

『原爆裁判—アメリカの大罪を裁いた三淵嘉子』

山我浩・著 / 毎日ワンス

『地球の歩き方 ムー JAPAN』

地球の歩き方編集室・著 / 地球の歩き方

『ネズミくんのクリスマス』 なかえよしを・著 / ポプラ社



### 11月図書室カレンダー 閉室日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

現在の蔵書数…8,185冊

### 利用状況累計

○来室者数…のべ3,623人

○貸出冊数…6,092冊

○登録者数…181人

10月の統計（10/25まで）

○来室者数…のべ54人

○貸出冊数…66冊

11/2に行われた「空とぶ図書館」で借りた沖縄県立図書館の本は、12/2（月）までに大宜味村図書室（旧議会棟）へ返却してください。



### アイデアとセンスが光る☆ 令和6年度わんぱく体験団

### 第5弾「ランプシェードを作ろう」

10月26日（土）、旧大宜味小学校において令和6年度わんぱく体験団⑤「ランプシェードを作ろう」が行われました。今回も芸術の秋を楽しむことを目的に実施。できあがった作品はもちろん、おおぎみ展に出展してもらいます。って、こっちはホントの目的だった!?

ランプシェードと言っても、誰でも気軽に簡単に作ることができるもの。紙やひもを使って、いろいろな形のランプシェードを作ります。レシピも試行錯誤しながら考えました。

アイデアいっぱいのおおぎみたちがどんな作品でも作れるように材料もたくさん準備し、万全の体制をとりました。しか～し、当日来たのは6名。部活や行事で大活躍の団員も多いからね、しょうがない。いいんです。数じゃないから…、質だから…、気を取り直し、わんぱくスタートです。



最初に作るのは半紙のランプシェード。ふくらませた風船に水で濡らした半紙を貼っていき、丸い形を作っていきます。色紙や切り抜いた紙などを乗せたら、上から半紙をかぶせ、ボンド水をぬって固めていきます。紙が完全に乾いたら風船を割ってできあがり。これが一連の流れ。風船の大きさも紙を何枚重ねるか何枚を挟むかも自分次第。貼っては眺め、貼っては眺めしながら思い思いに作業を進めていきます。



最初のランプシェードを作り終えたわんぱくたち。時間はまだまだあるので、もう1つ同じものを作ってもいいし、ひもや厚紙で作るランプシェードに挑戦してもいいです。ひもはちょっと難しいけれどできれば見栄えは上等。



今回作ったランプシェードの材料のほとんどは100円ショップで手に入るものですが、アイデアとセンス次第で売り物のようなランプシェードが作れます。わんぱくたちも見事素敵な作品を作ってくれました。できあがった作品はおおぎみ展に出展します。わんぱくたちの力作をぜひ見に来てください。



ハッピーダンス



親子リレー

# 令和6年度大宜味小・中学校

# 運動会

# おおぎみこども園

# うんどうかい



10月12日（土）、おおぎみこども園において令和6年度第5回おおぎみこども園運動会、10月19日（土）、大宜味小・中学校グラウンドにおいて令和6年度第9回大宜味小・中学校運動会が開催されました。

おおぎみこども園では園児たちが思い切り体を動かして元気よく、運動遊びやかけっこに挑戦。応援に来た家族の顔もほころびました。

大宜味小・中学校では運動会テーマの「勝破笑美戦（かっぱえびせん）～NEVER GIVE UP～」のもと、小1から中3までそれぞれの種目を全力で楽しみました。今年はいさー以外にも小4から中3での障害物リレーを行うなど児童・生徒たちのアイデアがふんだんに織り込まれ、児童生徒主体の盛り上がる運動会となりました。



団競・表現



かけっこ



小3・4団競・表現



小3～6リレー



小4～中3障害物リレー



エイサー



校歌ダンス



中学生リレー



中学生表現 中1



中2



中3



## 学んで昨日よりもっと写真が好きになる

10月5日（土）、旧大宜味小学校において株式会社スマイルフォトプラス（喜如嘉翔学校内）の平良卓己さんを講師に令和6年度ぶながやの里生涯学習講座「スマホで撮ろう！私のやんばる」が行われました。

それぞれのスマホのレンズの種類やズーム、ピント、明るさ、色味の基本的な機能と場面によつての使い方を学び、次に写真を撮る時のポイントを教えてもらいました。

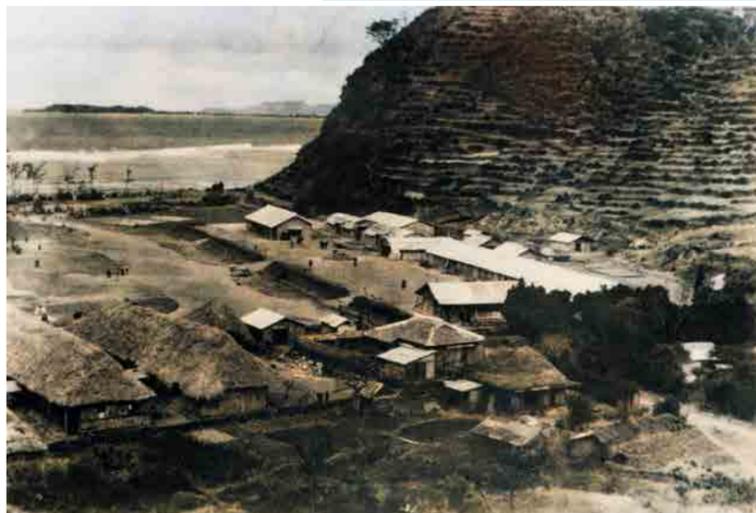
平良さんは「写真は『真っすぐ撮る』こと、『バランスよく撮る』ことを意識してほしい。これを意識するともっといい写真になる」と撮影した写真を見比べながら話してくれました。講座後は外に出てそれぞれのスマホで写真撮影。教わったことを思い出しながら、自分の思う山原の写真を撮影しました。少しの工夫でいつもよりいい写真が撮れることがわかり、充実した講座となりました。

作品はおおぎみ展にも出展（希望者のみ）する予定です。ぜひご覧になってください。



# 天野鍛助日記ヲ読ム 8

(161号つづき)



饒波に開校した頃の辺土名高校

天野鍛助は1920（大正9）年、初の民選村長として三期を務めた。元々は教職にあったことから、教育問題に関しては人一倍熱心で、三村の悲願であった高等学校設置についても先頭に立ち、地元饒波に辺土名高校を誘致する際には、軍政府との交渉や土地の確保などに奔走している。

昭和21年1月5日、国頭村において開校した辺土名高校は、大宜味村の人々の教育熱と奉仕の精神が実を結び、同年6月、名護高校の前身である田井等高校の分校として、波

原の地に男女共学がスタートした。その際、男子生徒は自分の机と椅子を担いで、辺土名から8キロの道を歩いて運んだという。天野日記にはその日のことを、「高校男子新校舎ニ移り来ル、職員酒ヲ携エ来リ飲ム」と綴られている。翌昭和22年5月には、辺土名高校として独立を果たし現在まで歴史を刻み続けている。



校門の様子

- 昭和二〇年十二月三日 高等学校設立委員会。国頭出身ハ辺土名ヲ、大宜味出身ハ喜如嘉ヲ学校ノ適地ト主張シ意見纏ラズ両候補地ヲ实地視察スルコトニ決定シ。校長ハ教育課長兼任、教員ノ食料補充ハ生徒一人ニツキ芋十斤ツツ毎月謝トシテ供出セシメルコト
- 十二月四日 高等学校敷地視察、喜如嘉ニテ同敷地校舎ヲ視察シ委員会開催、前日通りノ意見ヲ以テ対立セシガ結局男子部ト女子部ニ分テ辺土名、喜如嘉ニ何レカ一部宛ヲ置キ教員ノ配置出来ルヤ否ヲ当局ニテ調査シ六日更ニ再開スルコトヲ約シテ解散
- 十二月六日 高等学校設置促進委員会市役所ニ開催、委員長トナリ教員配置の能否ヲ当局ニ説明ヲ乞イ男女別ニスルハ配置出来兼ネルトノ回答ナリシモ努力スレバ教員ノ獲得出来ルト決定シ。当局ハ男子辺土名、女子喜如嘉と発表スルヤ拍手裡ニ委員会ハ其通り決定スル旨ヲ宣シ閉会ヲ告ゲ、連日ノ労ヲ謝シ当局ノ努力ヲ希望シテ解散セリ
- 十二月二十七日 辺土名地方役所ニテ元市会議員ノ打合せ会、市役所廃止ニツキ市会議員モ解消サレタルモ高等学校ノ存続上、計十五名ノ人選ヲ決議シ運動員ヲ地方長ヨリ指名（親盛、上村、鍛助、校長）...
- 十二月二十八日 高等学校後援委員設置諒解運動ノ為メ四名塩屋ニラブレス訪問、拒絶サル
- 昭和二十二年二月二十七日 役場テ高等学校常置委員会、敷地ハ当村ニスルコトヲ決ス
- 三月五日 高等学校委員会、国頭側ノ発言ニヨリ饒波ニ設置スルコトニ満場一致決定シテ手ヲ拍ツテ解散ス。祝杯ヲ傾ケテタ刻帰ル
- 三月十一日 高等学校独立運動使不成功ニテ帰ル
- 三月十八日 高等学校独立陳情ノタメ石川へ出張（二十五日）
- 四月二日 五時ヨリ学校敷地地主会合ヲサセ承諾セシム
- 四月八日 役場訪問、文教部ヨリ学校視察ニ来ルトノ報ニヨリ村長ニ会シ敷地着手ノ打合せヲナシ...
- 学校敷地地鎮祭ヲ挙行、トラクター地均シ始ム
- 五月十六日 四時ヨリ高等学校ノ「テンダテ」祈願ニ出ル
- 六月三日 高校男子新校舎ニ移り来ル、職員酒ヲ携来リ飲ム
- 六月八日 高校委員会ヲ開キ追加工事、落成式、校名ノ打合せリ...
- 六月二十九日 学校落成式。知事、又吉、山城、当山、当銘各部長、安里課長等見ユ、工事報告ヲナス

天野鍛助日記（辺土名高校設立から饒波への誘致に関する記述要約）

# 村史編さんだより

第163号 2024年11月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

## 第2回「通史編」専門部会開催



「大宜味村史 通史編」第2回専門部会を10月11日（金）に開催しました。会議では、原稿の確認、発刊スケジュールの確認等を行い、委員からは「章立ての順番やタイトルについて、追加又は削除が必要な内容」などの指摘やアドバイスがありました。専門部会での意見を反映できるよう、引き続き校正作業を頑張っていきたいと思っております！



会議の様子

地域を知ろう!!

## 一 村内の字誌・民俗の本 一

大宜味村には、現在では調査が難しい明治以前からの民俗を記録した字誌や記念誌、私家本など、村を知るための貴重な資料がたくさんあり、大宜味村史では、それらの資料を活用し、全字の民俗の特徴を1冊に網羅した「大宜味村史 民俗編」を平成30年3月に発刊しています。

古い歴史のある大宜味村には、村内外から「村のことを知りたい!」という方が多く訪れます。先日、カジマヤもすんだ村在住の媪（おうな・老齢の女性）が、「座ってテレビだけ見るよりも本読もうと思って」と、図書室から本を借りていきました。まさに生涯学習!このような方々が“教育・歴史文化の輝く健康長寿村”を引っ張って来たのだと実感する出来事でした。若輩の我々も負けてはいられません!

そこで、今回は既存の字誌・民俗関係の本をご紹介します。深まる秋、地域のことを知るためにページをめくってみませんか。これらの資料は図書室にて閲覧・貸出ができます。ぜひご利用ください。

### 大宜味村関係資料一覧（※○印は字誌）

- 田嘉里の歴史（安里有三）／1990（平成2）年
- ひんぷん6号 大宜味村田嘉里調査報告（琉大民俗研究クラブ）／1972（昭和47）年
- 謝名城の民俗（新城真恵）／1985（昭和60）年
- 沖縄の民俗資料 上（沖縄県教育委員会文化課）／1974（昭和49）年
- 喜如嘉誌（喜如嘉誌刊行会）／1996（平成8）年
- 喜如嘉の民俗（平良豊勝）／1970（昭和45）年 喜如嘉（平良景太郎）／1965（昭和40）年
- 饒波誌（同編集委員会）／2004（平成16）年
- 饒波「又ハ」の今・昔 聞取り・調査（上運天綾子）／2011（平成23）年
- 大兼久誌（同編集委員会）／1991（平成3）年
- 大宜味誌 鎮守の里（宮城長信著・同編集委員会編）／2012（平成24）年
- 根路銘誌（宮城倉栄編）／1985（昭和60）年
- 大宜味やんばるの生活風景 根路銘村落の習俗と子供の遊び（外間治男）／1985（昭和60）年
- ふるさとティサガ記念誌（上原）／1997（平成9）年 ○塩屋誌（同編集委員会）／2003（平成15）年
- 大保誌／2006（平成18）年 ○津波誌・別冊津波のシマ言葉／2004（平成16）年
- 沖縄県文化財調査報告書第153集 沖縄の行事食に関する総合調査報告書（県教育委員会）／2020（令和2）年
- 大宜味村伝説遺跡調査 上巻・下巻（沖国大文学部国文学科卒業論文）／1999（平成11）年



政信教育長のあじま～コラム



「人と人とのつながり、地域、家族の役割」

先月9日（水）伊平屋村コミュニティ・スクール（以下CS）講演会に参加してきました。CSについては、「以前から地域との連携が深いのにわざわざCSを導入する必要があるのか」「田舎の学校には必要ない、都市部の学校の制度だ」という不要論も聞きます。CSはそんな単純なものではなく、「地域とともにある学校」づくりを目標に、学校の運営について、地域住民や保護者が先生と共に「当事者」としての意識を分かち合い、共に子供を育てる体制です。「学校運営協議会」や「地域学校協働活動」などの組織を設置し、保護者や地域住民が学校経営に参画する仕組みになっています。しかし、地域との連携、関係は本当にうまくいっているのでしょうか。以前は確かに大宜味でも頻繁に地域住民や保護者が学校に関わることが多くありました。人間関係の希薄化は都会だけのことではありません。核家族が主流となり一番身近な家族関係も変化しています。だからこそ、人とのつながりを重視したCSが重要になっているのではないかと考えています。皆さんが幼少の頃は、今より地域全体で見守られ、また、家族においても父、母、祖父母の何気ない行動や言葉、声かけから見守られている、という気持ちを感じたのではないのでしょうか。フィンガー5の「くちぐせロック」という歌には、そのことを感じさせられます。

「父ちゃんのいつものくちぐせは、ユーシタイ、ユーシタイ ころんでマブヤーをおとしても父ちゃんはいつもユーシタイ、ユーシタイ」「母ちゃんのいつものくちぐせは、アキサミーヨ、アキサミーヨ、テストで百点もらっても母ちゃんはいつもアキサミーヨ」「じいちゃんのいつものくちぐせは、チバリヨ一、チバリヨ一、兄弟げんかをしていてもじいちゃんはいつもチバリヨ一」「ばあちゃんのいつものくちぐせは、ウートートゥ、ウートートゥ、うぶく（ご飯）とうちゃとう（御茶湯）をこぼしてもばあちゃんはいつもウートートゥ」

今月の生きもの



撮影：村山望

マルバネルリマダラ♂：タテハチョウ科マダラチョウ亜科

どうも～、私マルバネルリマダラで～す♪  
 私たちは以前は迷蝶としてまれに見られていましたが、ここ2年ほどは定着していると思われ、沖縄本島でも見られる蝶になっています。一見、ツمامラサキマダラのようにも見えますが、ツمامラサキマダラよりやや大きく、翅の形が丸みをおびています。青く輝く前翅が素敵でしょ♪実はみんなの近くにいるのでよく探してみてください♪

1日（金）区長会	11月9日	15日（木）（園）秋の遠足	11月の行事予定
2日（土）おおぎみ展 ～4日		16日（土）県民体育大会 ～17日	
3日（日）文化の日		17日（日）（中）地区総合文化祭・地区音楽発表会	
4日（月）振替休日	18日（月）（中）振替休日（11/17 総合文化祭）		
6日（水）（小中）地震・津波避難訓練	23日（土）勤労感謝の日 県民体育大会 ～24日		
9日（土）ツール・ド・おきなわ ～10日	中体連地区新人 ～24日・30日		
11日（月）（中）修学旅行 ～13日	28日（木）定例教育委員会会議		
12日（火）（中）職場体験 ～14日	30日（土）しまんちゅ芸能		
14日（水）芭蕉布の里 能楽公演			

今年も残すところ、2か月となりました。とはいえ、まだまだ夏の陽気。秋って何？いつ来るの？いつ来たの？渡ってきた鳥たちもびっくりしていると思います。暖かさや冬の過ごしやすさは好きだけど、もっと秋を感じたい…。